



## 接続ガイド DRX5002

1.3版

## 《改版履歴》

版数	改版年月日	改版内容
1.1版	2023年11月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ お問い合わせ窓口：窓口を修正</li></ul>
1.2版	2025年05月15日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ファームウェア Version 3.0.0 の更新を反映<ul style="list-style-type: none"><li>・ プロファイル切り替え/切り戻し：切り戻し設定及び再起動をGUIでの操作に変更（CLIでの操作手順を削除）</li><li>・ プロファイル切り替え/切り戻し：切り戻し設定及び再起動をGUIでの操作に変更（CLIでの操作手順を削除）</li><li>・ モバイル通信端末のステータス：CLIでの操作手順を削除</li><li>・ Web設定ツールへのログイン：パスワード強制変更に手順を変更</li></ul></li><li>・ 接続ガイド全体の軽微な修正</li></ul>
1.3版	2025年07月01日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社名変更に伴う修正</li><li>・ APNの参照先を修正</li></ul>

# 本書について

このたびは、弊社モバイルサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
ご利用の前に、あるいはご利用中に、本書「接続ガイド」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ご不明な点がございましたら、本書記載の「[11. お問い合わせ窓口](#)」をご確認いただきお問い合わせください。「[10. 困ったときには](#)」にも、よくお問い合わせいただく内容一覧をまとめておりますのでご活用ください。

弊社モバイルサービスをビジネスツールとして、未永くご愛用いただけると幸いです。

## ● 本書の扱いについて

- 本書の一部または全部をNTTドコモビジネス株式会社の許可なく複製・複製・転載することを禁じます。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。
- 本書における記述は、情報を提供する目的で記載したもので、保証するものではありません。

## ● 商標および登録商標について

- IoT Connect Mobile Type Sは、NTTドコモビジネス株式会社の商標です。
- Google Chromeは、Google LLCの登録商標です。
- Microsoft、Windows、およびMicrosoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
  - Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
-  とフリーダイヤルは、NTTドコモビジネス株式会社の登録商標です。
- その他、記載された商品名及び会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中の各社登録商標または商標には、一部®マークなどは表示しておりません。

## ● 最新版の接続ガイドの提供について

最新版の接続ガイドは、以下のURLよりダウンロード可能です。

[https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/icms\\_function/icms\\_function.html/#brandname](https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/icms_function/icms_function.html/#brandname)

## ● DRX5002の製品マニュアル（取扱説明書）について

メーカーの最新マニュアル（取扱説明書）を以下のURLよりダウンロード可能です。  
本書と合わせてご覧ください。

<https://www.sun-denshi.co.jp/sc/down.html>

目次	P4
1. はじめに	P5
2. 同梱物の確認	P10
3. SIMカードについて	P12
4. 環境設定	P15
5. 初期設定	P20
6. [SIM2枚構成] 接続設定	P26
7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定	P36
8. [SIM1枚構成 (NTTCプロファイル) ] 接続設定	P46
9. その他機能設定	P50
10. 困ったときには	P56
11. お問い合わせ窓口	P58

# 1. はじめに

---

1-1. 本書の流れ

1-2. 端末仕様

1-3. 各部名称について

# 1. はじめに

## 1-1. 本書の流れ

### 2. 同梱物の確認

- お手元に届いた個装箱内の内容物をご確認ください。

### 3. SIMカードについて

- SIMカードからIC部分の取り外しを行います。
- 取り外したIC部分をDRX5002に挿入します。

### 4. 環境設定

- 設定用PCの設定を行います。

### 5. 初期設定

- DRX5002の初期設定を行います。

### 接続設定

- DRX5002のモバイル回線接続設定を行います。  
ご利用の構成に該当する手順を参照し、設定してください。  
[6. \[SIM2枚構成\] 接続設定](#)  
[7. \[SIM1枚構成 \(TSLプロファイル\) \] 接続設定](#)  
[8. \[SIM1枚構成 \(NTTCプロファイル\) \] 接続設定](#)

### 9. その他機能設定

- その他の機能や仕様に関して記載しています。  
必要に応じ参照、設定してください。  
[9-1. モバイル通信端末のステータス](#)  
[9-2. 自動再起動機能](#)  
[9-3. ファームウェアのアップデート](#)  
[9-4. 初期化](#)  
[9-5. ランプ点灯・点滅パターン](#)

### その他

- 「[10. 困ったときには](#)」、 「[11. お問い合わせ窓口](#)」 を記載しています。

# 1. はじめに

## 1-2. 端末仕様



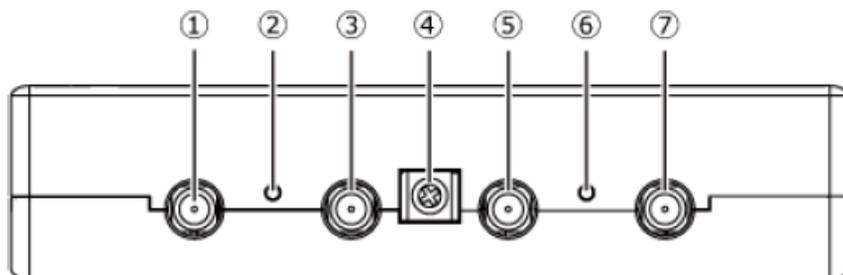
DRX5002 本体

項目	仕様
機種名	DRX5002 (サン電子社製)
アクセス方式	LTE
提供形態	お買い上げ
形状	LTE デュアルSIM M2Mルータ
イーサネット	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TX×2ポート (MDI/MDI-X自動判別)
無線インターフェース	B1 (UL : 1,920~1,980MHz / DL : 2,110~2,170MHz) B8 (UL : 880~915MHz / DL : 925~960MHz) B18 (UL : 815~830MHz / DL : 860~875MHz) B19 (UL : 830~845MHz / DL : 875~890MHz) B39 (UL : 1,880~1,920MHz / DL : 1,880~1,920MHz)
通信速度 ※	上り : 最大50Mbps / 下り : 最大150Mbps
対応ブラウザ	Google Chrome 上記以外のブラウザでは、正常に動作しない可能性あり
音声通話	非対応
無線LAN	なし
電源	電圧 : DC 5~27.4V (±5%) 消費電流 待受時 : 約300mA (DC12V) 通信時 : 約380mA (DC12V) 通信時最大 : 約800mA (DC12V) 消費電力 : 12W (最大) / 5W (平均) / 0.8W (おやすみモード)
動作環境	動作温度 : -20℃~65℃ 動作湿度 : 25%~85% (結露なきこと)
寸法	約 128(W) × 81.2(D) × 29.3 (H) mm (突起部、取付金具除く)
質量	約240g (本体のみ)
アンテナ	内蔵 ただし、金属製ボックスにDRX5002本体を納める場合など内蔵アンテナで通信が困難な場合、別売の外部アンテナの接続が可能

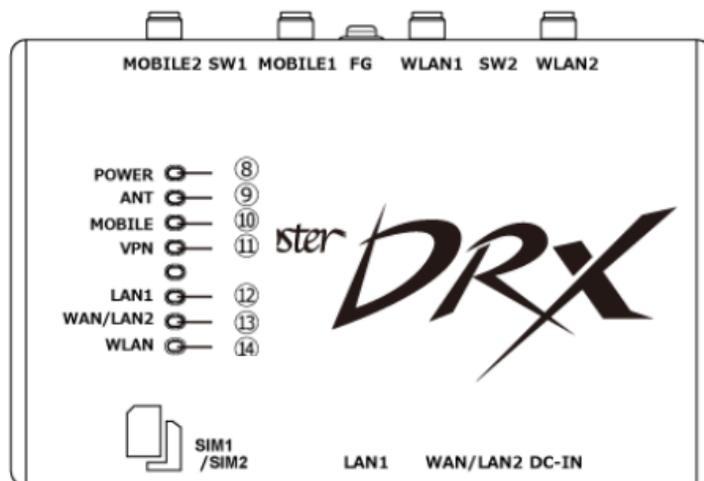
※記載の最大通信速度は技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。  
実際の通信速度は通信環境やネットワークの混雑状況により変化します。

# 1. はじめに

## 1-3. 各部名称について



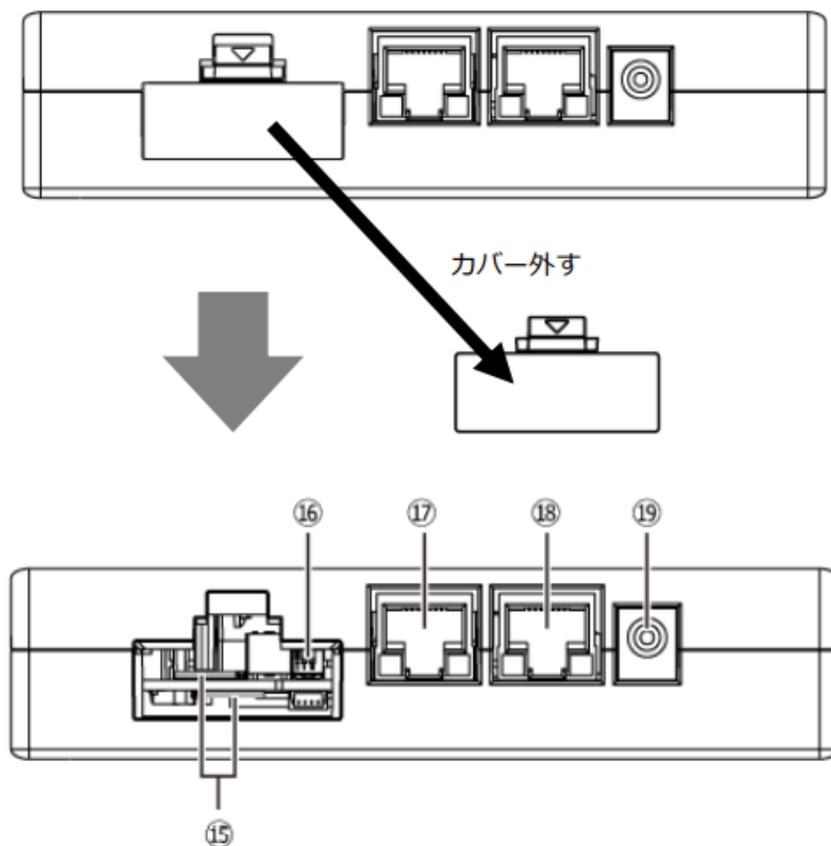
名称	機能
① MOBILE2 コネクタ (SMA)	外部アンテナ (モバイル通信用) を接続します。 外部アンテナは必ず対応のアンテナを2本接続して使用してください。 ※外部アンテナは別売です。
② SW1 スイッチ ⑥ SW2 スイッチ	SW1スイッチを先の細いピンなどを使って3秒以上押し続けると、シャットダウンします。 SW1スイッチとSW2スイッチを同時に3秒以上押し続けると、ランプが一旦全点灯 (ANT赤以外) した後、WLANランプ、VPNランプ、MOBILEランプ、ANT緑ランプの順で消灯し、工場出荷時の設定に戻り、再起動します。
③ MOBILE1 コネクタ (SMA)	外部アンテナ (モバイル通信用) を接続します。 外部アンテナは必ず対応のアンテナを2本接続して使用してください。 ※外部アンテナは別売です。
④ FG 端子	アース線を接続します。
⑤ WLAN1 コネクタ(無線LAN)	なし (DRX5002は無線LAN非対応)
⑦ WLAN2 コネクタ(無線LAN)	なし (DRX5002は無線LAN非対応)



名称	機能
⑧ POWER ランプ	DRX5002の通電状態が表示されます。
⑨ ANT ランプ	電波状態が表示されます。
⑩ MOBILE ランプ	モバイル通信端末の動作状態が表示されます。
⑪ VPN ランプ	VPNセッション (IPsec、PPTP、LT2TP/IPsec) の動作状態が表示されます。
⑫ LAN1 ランプ	LAN1ポート (⑰) へのLAN接続機器の接続状態が表示されます。
⑬ WAN / LAN2 ランプ	WAN/LAN2ポート (⑱) へのWAN/LAN接続機器の接続状態が表示されます。
⑭ WLAN ランプ	DRX5002は無線LAN非対応のため、使用しません。

# 1. はじめに

## 1-3. 各部名称について



名称	機能
⑮ SIM カード挿入口 (上 : SIM1、下 : SIM2)	nano SIMカード (12.3×8.8mm) を挿入します。 挿入口は上下各1つずつあり、2枚のSIMカードを挿入できます。
⑯ DIP スイッチ	拡張用
⑰ LAN1 ポート	LANケーブルでLAN接続機器、ハブなどを接続します。
⑱ WAN/LAN2 ポート	LANケーブルでWAN接続機器やLAN接続機器、ハブなどを接続します。
⑲ DC IN コネクタ	DC電源プラグを接続します。

## 2. 同梱物の確認

---

## 2. 同梱物の確認

お手元に届いた個装箱に以下の物品が同梱されていることをご確認ください。

※接続に必要なとなるその他物品（設定用PC、LANケーブルなど）は、お客さまでご準備くださいますようお願いいたします。

### ●同梱物一覧

品名	型番	外観	個数
LTEデュアルSIM M2Mルータ	DRX5002		1
ACアダプター	ADP-30FW		1

## 3. SIMカードについて

---

- 3-1. IC部分の取り外し
- 3-2. SIMカードの挿入方法

## 3. SIMカードについて

### 3-1. IC部分の取り外し

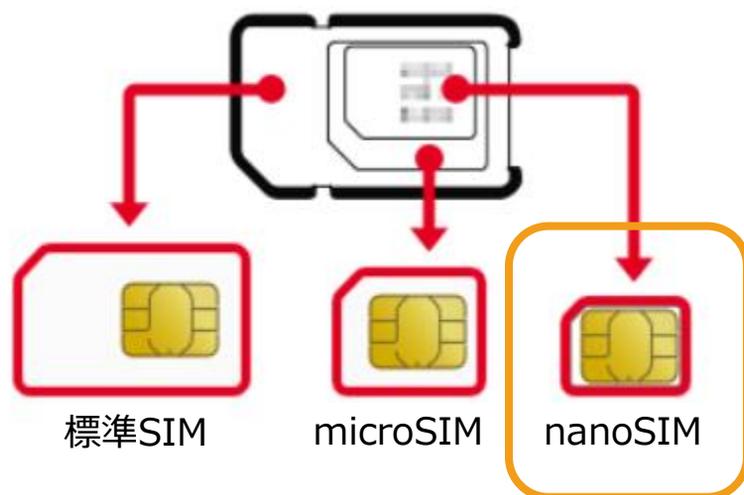
\* IC部分に触れないように手袋などを着用して、SIMカードを取り外してください。  
IC部分に直接触れてしまった場合は乾いた柔らかい布などで拭いてからご使用ください。

#### ■ マルチカットSIMカードの扱いについて

マルチカットSIMカードを本商品へ取り付けや取り外す際は、必要以上の力を加えないでください。手や指を傷つけたり、故障の原因となることがあります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください、誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

マルチカットSIMは任意のサイズにカットでき、「標準SIM」、「microSIM」、「nanoSIM」の3サイズに対応します。

本商品は「nanoSIM」となりますので、切り目に沿ってカットしてください。



#### ■ SIMカードのプロファイル種別の見分け方

IoT Connect Mobile Type SのSIMに印字されている「ハードウェアシリアル番号(HSN)」で初期プロファイルの種別を識別できます。

HSN 上3桁	001	➔	TSLプロファイル
	003		
	005		
	007		

---

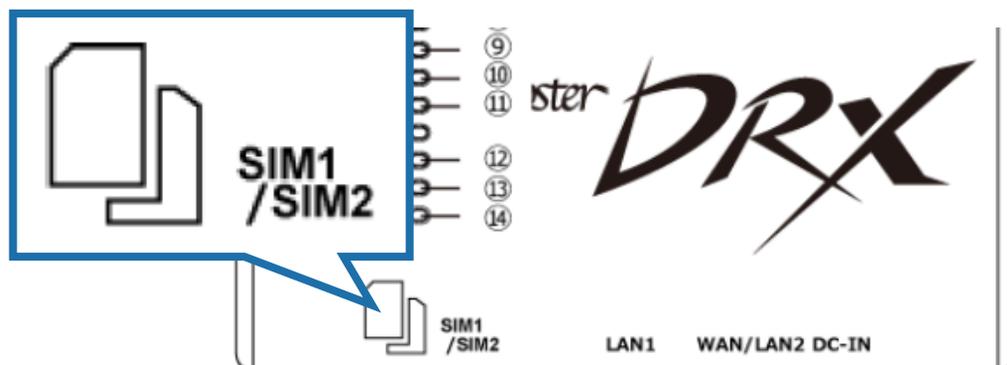
HSN 上3桁	009	017	➔	NTTCプロファイル
	010	018		
	011	019		
	012	020		
	013	021		
	014	022		
	015			
	016			

※プロファイル切り替えを実行されたSIMでは上記方法による識別ができませんのでご注意ください。

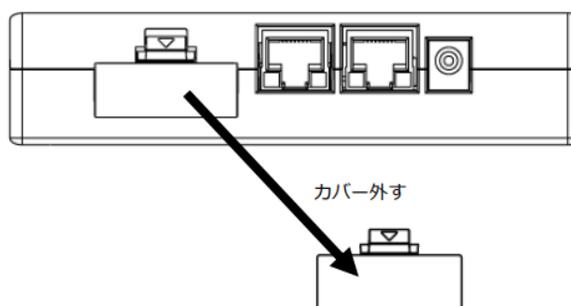
# 3. SIMカードについて

## 3-2. SIMカードの挿入方法

1. SIMカードの挿入口を確認します。SIMカードの挿入口は、DRX5002本体の側面にあり、天面には挿入口を示すイラストが印字されています。

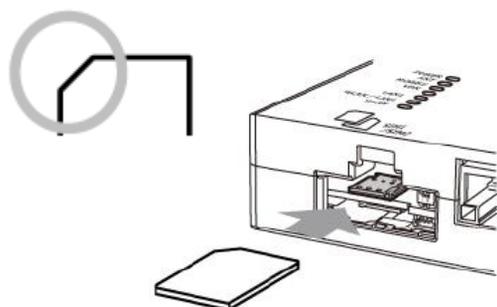


2. SIMカード挿入口のカバーを外します。

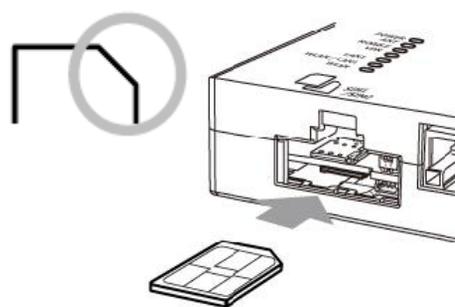


3. SIMカードの挿入口は2つあり、上部のSIM1と下部のSIM2に分かれています。SIMカードは、本体に表示されているイラストと同じ向きで「カチッ」と音がし、ロックされるまで挿入してください。

### SIM1 の挿入口に入れる場合



### SIM2 の挿入口に入れる場合



## 4. 環境設定

---

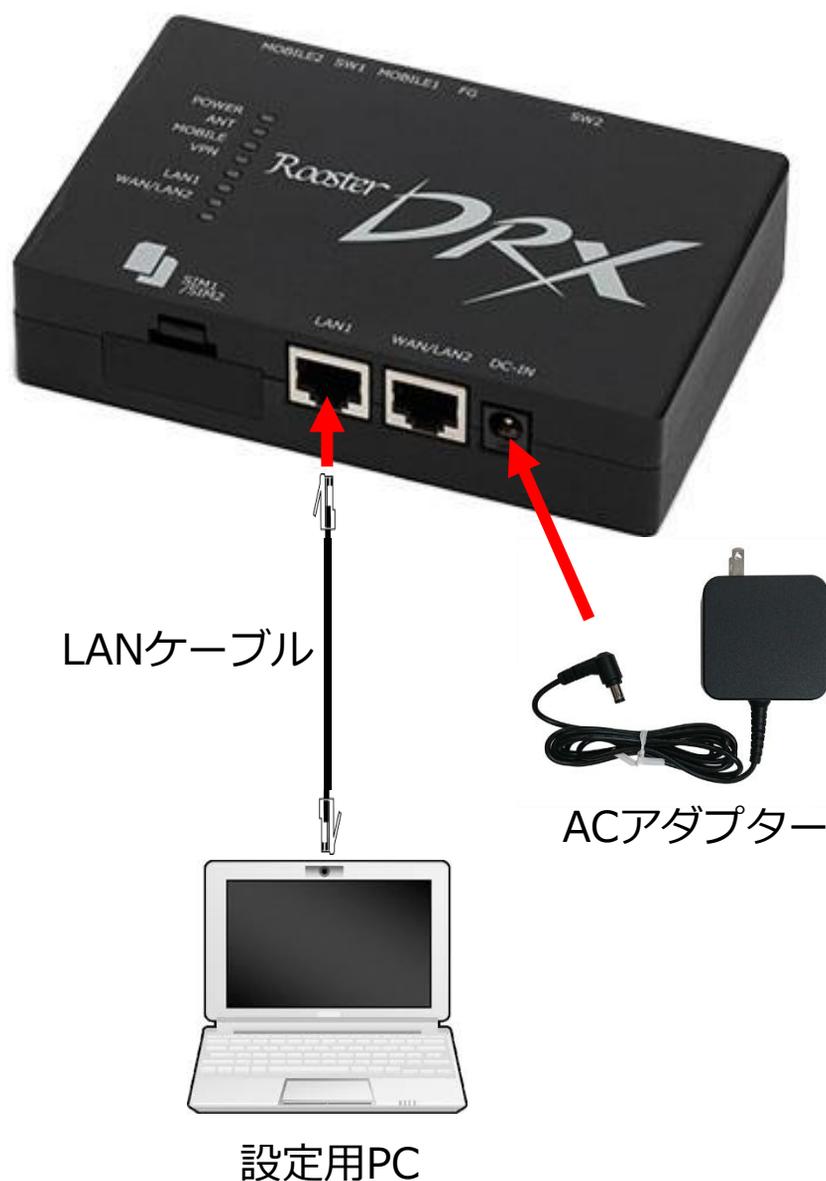
4-1. 接続方法

4-2. 設定用PCの設定

## 4. 環境設定

### 4-1. 接続方法

1. DRX5002と設定用PCの電源が入っていないことを確認してください。
2. LAN1ポートにクライアントとなる設定用PCを接続してください。  
※LANケーブルは、カテゴリ5e以上で通信速度に対応したケーブルをご利用ください。
3. DRX5002の電源コネクタに電源プラグを接続してください。
4. ACアダプターをコンセントに接続してください。  
※ACアダプターは、指定（付属品）のもの、またはDRX5002の電源規格に合ったものを使用してください。それ以外の電源を使用すると、故障・誤作動の原因になります。
5. 設定用PCの電源を入れてください。



## 4. 環境設定

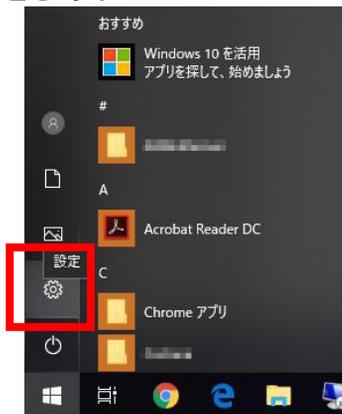
### 4-2. 設定用PCの設定

DRX5002にアクセスできるように、設定用PCにDHCPクライアントの設定をします。本書ではWindows10の設定画面にて説明します。設定用PCには管理者権限でログインしてください。

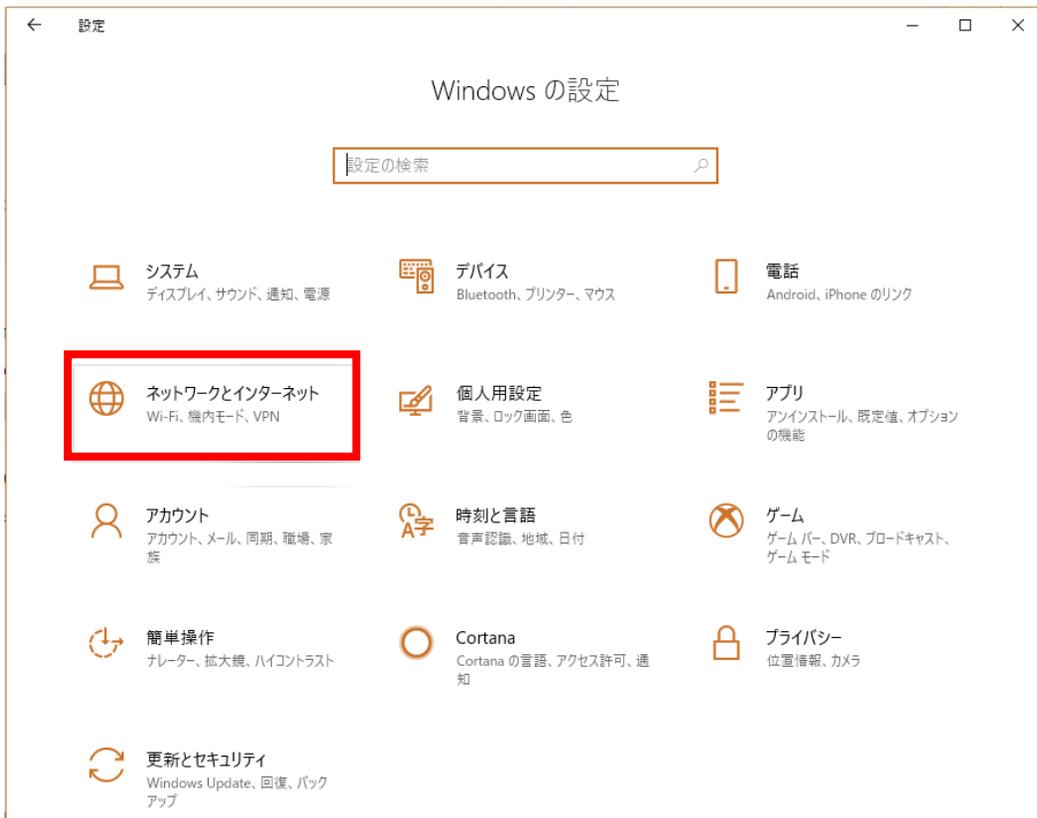
#### <必要な環境>

- TCP/IPが利用できるOS（Windows、MacOS、各種UNIXなど）を搭載し、イーサネットポートを搭載したPC
  - LANケーブル
  - Google Chromeのブラウザ
- 上記以外のブラウザでは、正常に動作しない可能性があります。

1. スタート画面から [設定] を開きます。



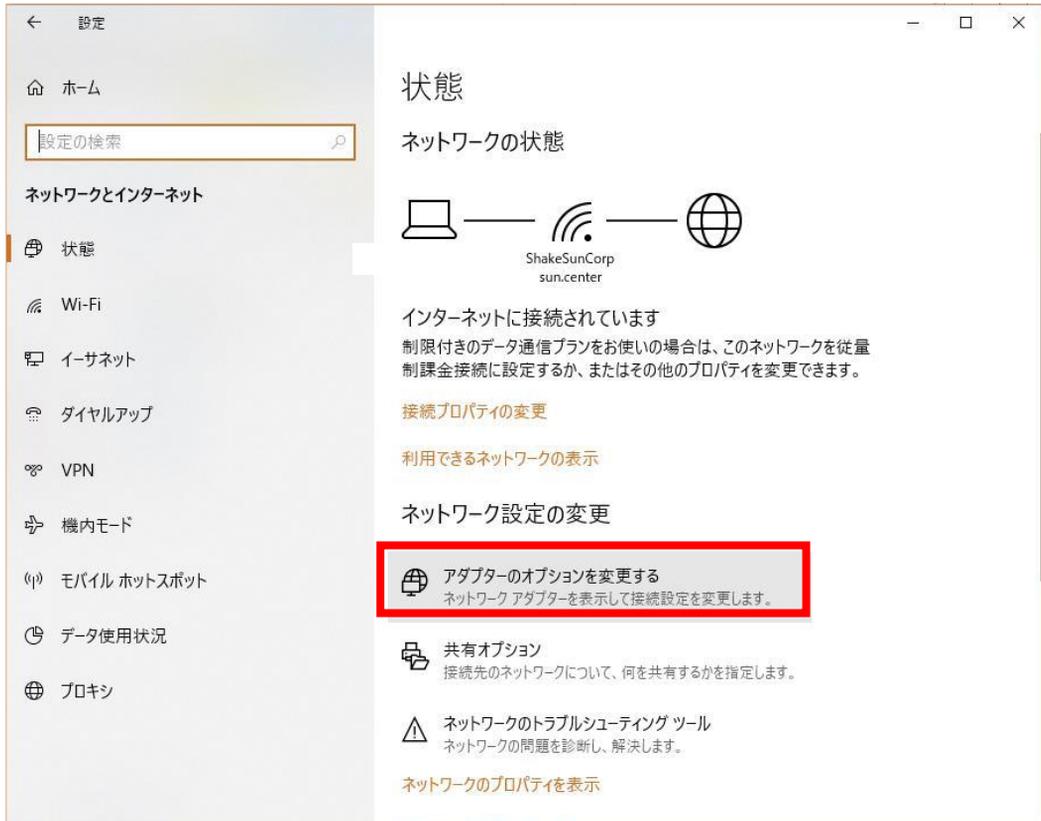
2. [ネットワークとインターネット] を開きます。



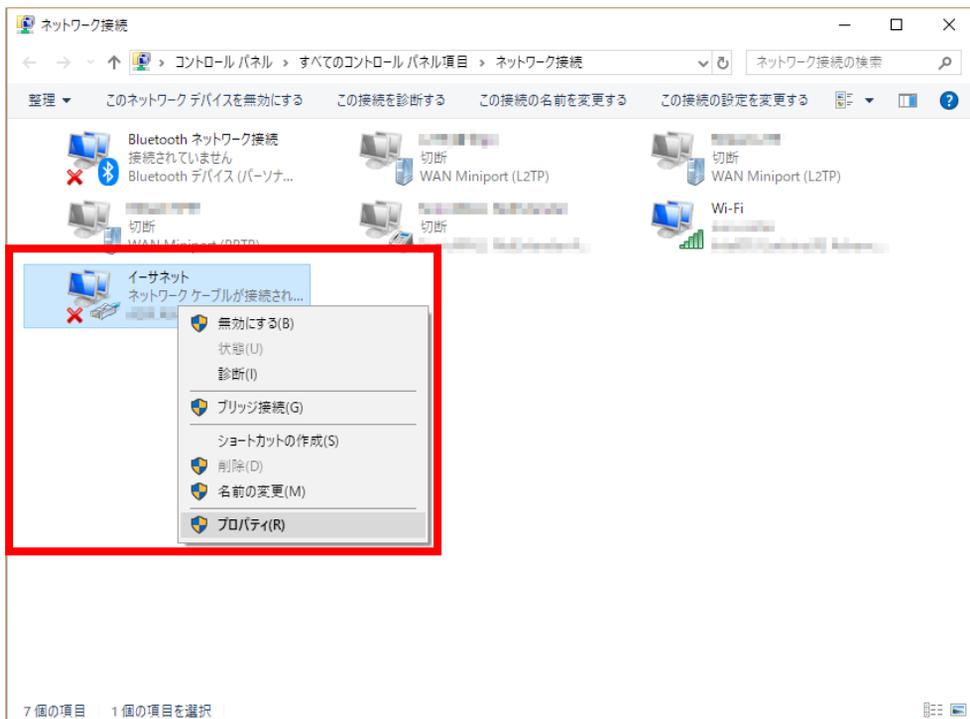
## 4. 環境設定

### 4-2. 設定用PCの設定

3. 「ネットワークの状態」から [アダプターのオプションを変更する] を開きます。



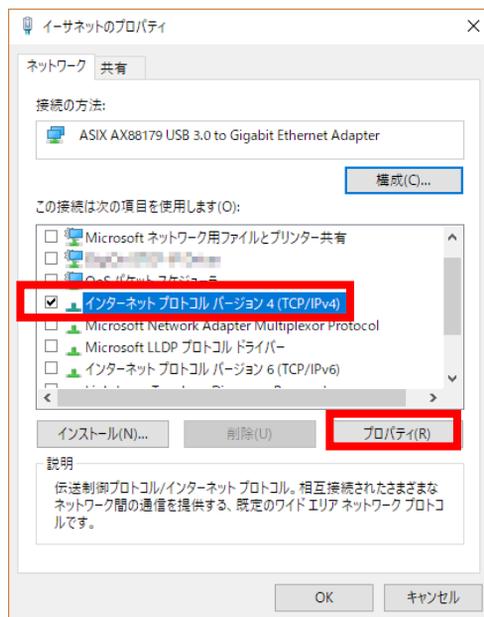
4. [イーサネット] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



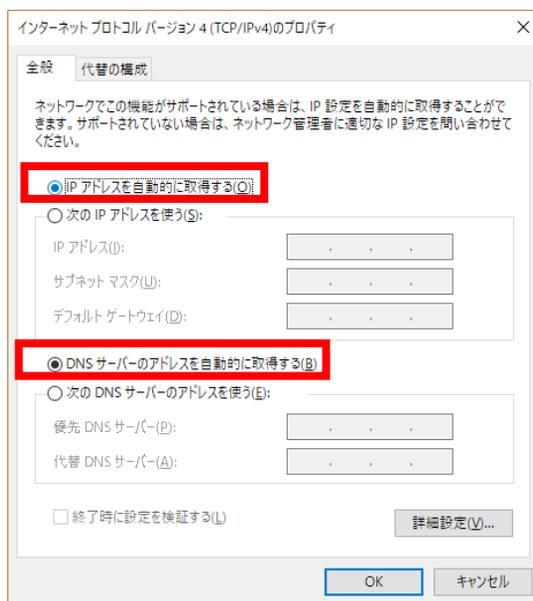
## 4. 環境設定

### 4-2. 設定用PCの設定

5. [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選び、[プロパティ] ボタンをクリックします。  
インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティが表示されます。



6. [IPアドレスを自動的に取得する]、[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択します。



7. [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。  
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面も、[OK] ボタンをクリックして閉じます。

## 5. 初期設定

---

5-1. Web設定ツールへのログイン

5-2. LAN/WAN設定

5-3. モバイル通信端末基本設定

## 5. 初期設定

### 5-1. Web設定ツールへのログイン

以下の手順を参考に、Rooster Web設定ツール（以下、Web設定ツール）へログインしてください。

1. Webブラウザを起動し、ブラウザのアドレス入力欄に、DRX5002のLAN側IPアドレス「http://192.168.62.1/」（工場出荷時状態）を入力し、Enterキーを押します。

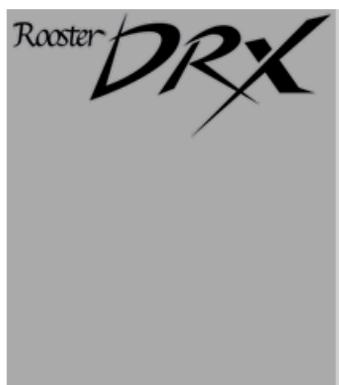


2. ダイアログボックスが表示されたら、ユーザー名に「root」、パスワードに「root」（工場出荷時状態）と入力した後、[ログイン] ボタンをクリックします。

A screenshot of a login dialog box titled 'ログイン'. It shows the URL 'http://192.168.62.1' and a warning: 'このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません'. There are two input fields: 'ユーザー名' (User Name) containing 'root' and 'パスワード' (Password) containing '....'. At the bottom, there are two buttons: 'ログイン' (Login) and 'キャンセル' (Cancel). The 'ログイン' button is highlighted with a red rectangular box.

3. パスワードを工場出荷状態の設定から変更していない場合、パスワード変更画面が表示されます。  
新しいパスワードを大文字、小文字、数字、記号を含む、8文字以上32文字以下で設定して、[変更] ボタンをクリックします。

パスワードを変更した後、再度ログインダイアログボックスが表示されます。  
新しく設定したパスワードで再度ログインしてください。



#### パスワード変更

パスワードが初期設定のままとなっているため、パスワードの変更をお願いいたします。  
安心、安全にご使用いただくために、変更をお願いしております。

新しいパスワード:   
大文字、小文字、数字、記号を含む、8文字以上32文字以下で入力ください。

再入力:

## 5. 初期設定

### 5-2. LAN/WAN設定

#### ■ LAN設定

DRX5002のLAN側IPアドレスを変更する場合に設定を行います。  
工場出荷時状態のLAN側IPアドレスは「192.168.62.1」に設定されています。

- 1 Web設定ツールのメニューから、[インターフェイス] - [LAN] をクリックします。  
「LAN側設定」のページが表示されます。

#### インターフェイス

インターフェイスの各設定を行います。

LAN

1

- LAN側の各設定を行います。

The screenshot shows the LAN configuration interface. A red box highlights the IP address and subnet mask fields, with a callout '2'. Another red box highlights the link mode dropdown menu, with a callout '3'. A third red box highlights the '設定' (Apply) button, with a callout '4'. The 'LAN' tab is selected, indicated by a callout '1'.

IPアドレス:	192.168.62.1
サブネットマスク:	255.255.255.0
リンクモード:	自動

設定

- 2 [IPアドレス]、[サブネットマスク] に、新しく設定する DRX5002のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを入力します。
- 3 [リンクモード] に、以下の項目のいずれかを設定します。
  - ・ 自動
  - ・ 1000Mbps-Full
  - ・ 100Mbps-Full
  - ・ 10Mbps-Full
- 4 [設定] ボタンをクリックして、設定を反映させます。

# 5. 初期設定

## 5-2. LAN/WAN設定

### ■ WAN設定

DRX5002のWAN側のネットワーク設定を行います。

- 1 Web設定ツールのメニューから、[インターフェイス] - [WAN] をクリックします。「WAN側設定」のページが表示されます。

### インターフェイス

インターフェイスの各設定を行います。

#### WAN側設定

1

WAN側の各設定を行います。

IP自動取得  
 IP手動設定  
 PPPoE接続  
 LANとして使用

IPアドレス:   
サブネットマスク:   
ゲートウェイ:   
DNSサーバ1:   
DNSサーバ2:   
ID:   
パスワード:   
サービス名:

リンクモード:

NATを使用する。  
 デフォルトゲートウェイとして使用する。

2

- 2 ご利用環境に合わせ設定してください。  
※IPアドレスは、自動取得（工場出荷時状態）でも接続可能です。
- 3 [設定] ボタンをクリックして、設定を反映させます。

設定

3

## 5. 初期設定

### 5-3. モバイル通信端末基本設定

DRX5002ではモバイル通信を行う場合、モバイル通信端末の設定が必要になります。

- 1 Web設定ツールのメニューから、  
[インターフェイス] - [モバイル通信端末] をクリックします。  
「モバイル通信端末」のページが表示されます。

## インターフェイス

インターフェイスの各設定を行います。

### モバイル通信端末

1

- モバイル通信端末の設定を行います。

モバイル通信を使用する。

2

デフォルトゲートウェイとして使用する。

3

通信モード:

ECM (従来)

※MBIMは、LTEモジュールのFWバージョンによっては使用できません。  
詳細は取扱説明書を参照ください。

MBIM (推奨)

設定項目	状態			操作
プロファイル	未設定			設定
SIM	SIM 1	有効	ローミング	設定
	SIM 2	無効	ローミング	
WakeOn着信	無効			設定
アンテナ	内部アンテナ			設定

設定

4

- 2 [モバイル通信を使用する] のチェックをオンにします。
- 3 デフォルトゲートウェイとして使用する場合は、[デフォルトゲートウェイとして使用する] のチェックをオンにしてください。
- 4 [設定] ボタンをクリックします。

## 5. 初期設定

### 5-3. モバイル通信端末基本設定

以降のモバイル通信設定につきましては、ご利用構成により設定手順が異なります。以下を参照してください。

#### ■ SIM 2枚構成でご利用の場合

- ・メインSIM (SIM1) : IoT Connect Mobile Type S NTTCPロファイル
- ・サブSIM (SIM2) : IoT Connect Mobile Type S TSLプロファイル

⇒ [6. \[SIM2枚構成\] 接続設定](#)

#### ■ SIM 1枚構成(TSLプロファイル)でご利用の場合

SIM1 : IoT Connect Mobile Type S TSLプロファイル

⇒ [7. \[SIM1枚構成 \(TSLプロファイル\) \] 接続設定](#)

#### ■ SIM 1枚構成(NTTCプロファイル)でご利用の場合

SIM1 : IoT Connect Mobile Type S NTTCPロファイル

⇒ [8. \[SIM1枚構成 \(NTTCプロファイル\) \] 接続設定](#)

## 6. [SIM2枚構成] 接続設定

---

6-1. 構成

6-2. SIMカードスロット設定

6-3. プロファイル設定

6-4. プロファイル切り替え／切り戻し

# 6. [SIM2枚構成] 接続設定

## 6-1. 構成

本章では、IoT Connect Mobile Type SのSIM2枚（NTTCプロファイル+TSLプロファイル）を使用した構成における設定手順を記載します。  
構成のイメージを以下に示します。

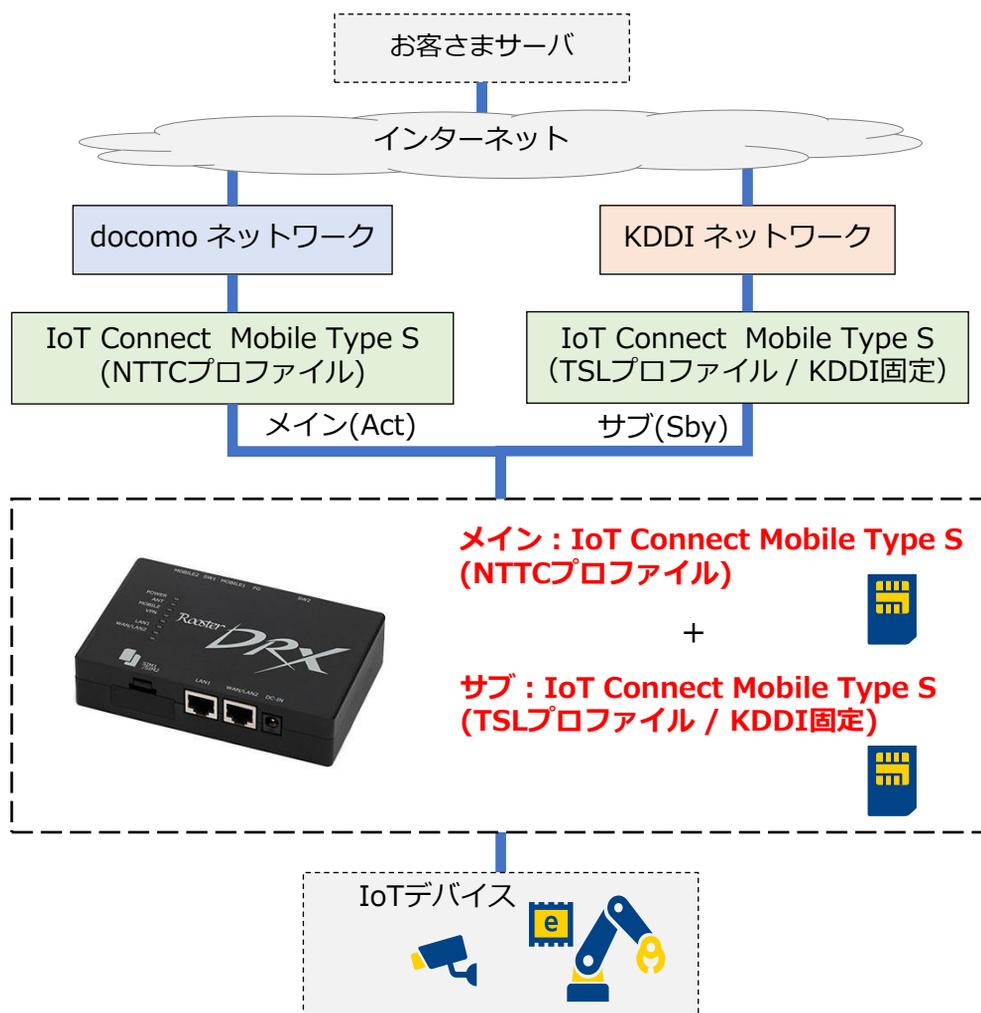


図 6-1. IoT Connect Mobile Type S SIM2枚構成

## 6. [SIM2枚構成] 接続設定

### 6-2. SIMカードスロット設定

- 1 Web設定ツールのメニューから、[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [SIM] をクリックします。「SIMカードスロット」のページが表示されます。

**モバイル通信端末**  
モバイル通信端末の各設定を行います。

**SIMカードスロット 1**

- SIMカードスロットの設定を行います。

SIM1スロットを有効にする。

通信事業者を選択: **ローミング** 2

MVNO:

PINコードを設定:

**3**  SIM2スロットを有効にする。

通信事業者を選択: **ローミング** 4

MVNO:

PINコードを設定:

**5**

- 2 SIM1の [通信事業者を選択] のプルダウンから「ローミング」を選択します。
- 3 [SIM2 スロットを有効にする。] のチェックをオンにします。
- 4 SIM2の「通信事業者を選択」のプルダウンから「ローミング」を選択します。
- 5 [設定] ボタンをクリックします。

## 6. [SIM2枚構成] 接続設定

### 6-3. プロファイル設定

SIM1、SIM2のモバイル設定を行います。

- 1 Web設定ツールのメニューから、  
[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [プロファイル] をクリックします。  
「プロファイル」のページが表示されます。

Rooster DRX

モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

プロファイル 1

■ プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する: 1 追加 2

No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作
-----	-----	-------	----------	----	----

デフォルトプロファイル: 未設定▼

[バックアッププロファイルの設定](#)

設定

- 2 [プロファイルを追加する] にプロファイル番号「1」を入力し、[追加] ボタンをクリックします。「プロファイルの詳細設定」の画面が表示されます。

#### プロファイルの詳細設定

No.	1
ID	
パスワード	
APN	
PDPタイプ	IP ▼
認証プロトコル	自動 ▼
SIM番号	1 ▼
接続先通信事業者	自動 ▼ SIMの通信事業者が「ローミング」の場合に適用
メモ	

4 設定 キャンセル

- 3 以下のとおり設定します。

【ID】：空欄  
【パスワード】：空欄

【APN】：ナレッジセンタよりご確認をお願いします。  
[https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical\\_req/technical\\_requirement\\_s.html/#provision-conditions](https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical_req/technical_requirement_s.html/#provision-conditions)  
→「端末設定/条件(NTTCプロファイル(インターネット接続) ご利用時)」

【PDPタイプ】：IP  
【認証プロトコル】：自動  
【SIM番号】：1  
【接続先事業者】：自動

【メモ】：任意に設定内容を分かりやすくするための覚え書きを入力できます。

- 4 [設定] ボタンをクリックして、設定内容を反映させます。

## 6. [SIM2枚構成] 接続設定

### 6-3. プロファイル設定

- ⑤ [プロファイルを追加する] にプロファイル番号「2」を入力し、[追加] ボタンをクリックします。「プロファイルの詳細設定」の画面が表示されます。

**モバイル通信端末**  
モバイル通信端末の各設定を行います。

**プロファイル**

■ プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する:   ⑤

No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作
1	mobiledata.ntt.com	1			<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>

デフォルトプロファイル:   
[バックアッププロファイルの設定](#)

- ⑥ 以下のとおり設定します。

【ID】：空欄

【パスワード】：空欄

【APN】：ナレッジセンタよりご確認をお願いします。  
[https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical\\_req/technical\\_requirement\\_s.html#provision-conditions](https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical_req/technical_requirement_s.html#provision-conditions)

→端末設定/インターフェース条件(TSLプロファイル(インターネット接続)ご利用時)

【PDPタイプ】：IP

【認証プロトコル】：自動

【SIM番号】：2

【接続先事業者】：KDDI (440 51)

【メモ】：任意に設定内容を分かりやすくするための覚え書きを入力できます。

**プロファイルの詳細設定**

No.	<input type="text" value="2"/>
ID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
APN	<input type="text" value="mobile"/>
PDPタイプ	<input type="button" value="IP v"/>
認証プロトコル	<input type="button" value="自動 v"/>
SIM番号	<input type="button" value="2 v"/>
接続先通信事業者	<input type="button" value="KDDI (440 51) v"/> <small>SIMの通信事業者が「ローミング」の場合に適用</small>
メモ	<input type="text"/>

⑥

⑦

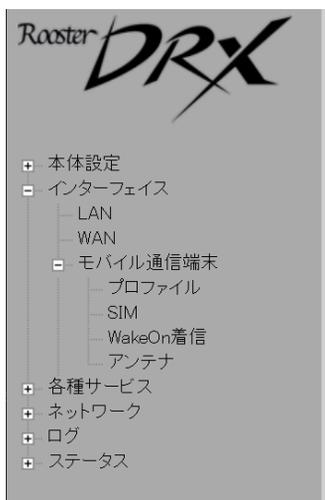
- ⑦ [設定] ボタンをクリックして、設定内容を反映させます。

# 6. [SIM2枚構成] 接続設定

## 6-4. プロファイル切り替え/切り戻し

SIMの切り替え/切り戻し設定をします。

- 1 Web設定ツールのメニューから、  
[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [プロファイル] をクリックします。  
「プロファイル」のページが表示されます。



### モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

#### プロファイル **1**

- プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する:

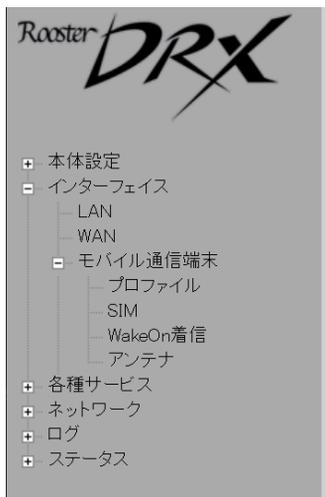
No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作
1	mobiledata.ntt.com	1		ICMS_NTTTC	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>
2	mobile	2		ICMS_TSL_KDDI	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>

デフォルトプロファイル:  **2**

[バックアッププロファイルの設定](#)

**3**

- 2 [デフォルトプロファイル] のプルダウンから [1] を選択します。
- 3 [設定]ボタンをクリックします。



### モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

#### プロファイル

- プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する:

No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作
1	mobiledata.ntt.com	1		ICMS_NTTTC	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>
2	mobile	2		ICMS_TSL_KDDI	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>

デフォルトプロファイル:

[バックアッププロファイルの設定](#) **4**

- 4 [バックアッププロファイルの設定]をクリックします。

## 6. [SIM2枚構成] 接続設定

### 6-4. プロファイル切り替え/切り戻し

#### バックアッププロファイル

- バックアッププロファイルの設定を行います。

- バックアッププロファイルを使用する。

バックアッププロファイル:  **5**

#### 切り替え条件

- SunDMS WANハートビートが指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。

監視先ホスト:

監視間隔:  分

指定回数:  回

- 監視先ホストへの通信が指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。

監視先ホスト:

監視間隔:  秒

指定回数:  回

- アンテナレベルが基準以下の場合、プロファイルを切り替える。

基準:

判定時間:  分

- 指定の時間でデフォルトプロファイルに切り戻す

判定時間:  分

**5** [バックアッププロファイル] のプルダウンから [2] を選択します。

**6** [切り替え条件] の項目で、

- ・ [SunDMS WANハートビートが指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。]
  - ・ [監視先ホストへの通信が指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。]
  - ・ [アンテナレベルが基準以下の場合、プロファイルを切り替える。]
- の3つの条件のうち1つを選択して設定します。

## 6. [SIM2枚構成] 接続設定

### 6-4. プロファイル切り替え/切り戻し

#### ■ 監視先ホストにSunDMSを利用する場合

[SunDMS WANハートビートが指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。] を選択し、以下を設定します。

監視先ホスト	デフォルトプロファイル設定のモバイル通信の健全性をpingで監視するための「SunDMS WAN ハートビート」のドメイン名を指定します。
監視間隔	監視先ホストに対して監視を行う間隔（分）を指定します。 設定範囲：2～1440
指定回数	リトライする回数を指定します。 「監視先ホスト」に対して「監視間隔」でpingを実施し、「指定回数」連続で失敗した場合、プロファイルを切り替えます。 設定範囲：1～10

※SunDMS WANハートビート機能は、SunDMSの有償プランでご利用いただけます。  
SunDMSにつきましては、別紙「SunDMSの機能とご利用方法」をご覧ください。

#### ■ 監視先ホストに自前のマシンを利用する場合

[監視先ホストへの通信が指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。] を選択し、以下を設定します。

監視先ホスト	デフォルトプロファイル設定のモバイル通信の健全性をpingで監視するためのIPアドレス、もしくはドメイン名を指定します。 監視先ホストが応答しない場合、プロファイルを切り替えます。
監視間隔	監視先ホストに対して監視を行う間隔（秒）を指定します。 設定範囲：1～600
指定回数	リトライする回数を指定します。 「監視先ホスト」に対して「監視間隔」でpingを実施し、「指定回数」連続で失敗した場合、プロファイルを切り替えます。 設定範囲：1～10

#### ■ アンテナレベルを使用する場合

[アンテナレベルが基準以下の場合、プロファイルを切り替える。] を選択し、以下を設定します。

基準	モバイル通信のアンテナレベル（通信状況）を監視するための基準を指定します。 基準アンテナレベル：0～3
判定時間	アンテナレベルが設定基準以下の状態が連続して判定時間（分）経過した場合、プロファイルを切り替えます。 判定時間：1～1440

## 6. [SIM2枚構成] 接続設定

### 6-4. プロファイル切り替え/切り戻し

プロファイル切り戻しの条件につきまして、以下の方法があります。

方法	処理	実行手順
切り戻しタイマー	自動	指定の時間経過によりデフォルトプロファイルに切り戻す
システム再起動	手動	Web設定画面（シンプルモード）もしくはCLI（アドバンスドモード）に接続し再起動操作
		SunDMSから再起動操作
		DRX5002本体の物理的な電源入れ直し
	自動	電源制御機能による再起動

#### ■ 切り戻しタイマー

##### バックアッププロファイル

- バックアッププロファイルの設定を行います。

バックアッププロファイルを使用する。

バックアッププロファイル: 2

指定の時間でデフォルトプロファイルに切り戻す

判定時間: 1~1440 分

7

- 7 時間経過によりデフォルトプロファイルに自動で切り戻す場合は、[指定の時間でデフォルトプロファイルに切り戻す] にチェックを入れ、「判定時間」を設定します。

判定時間	バックアッププロファイルに切り替わってから判定時間（分）経過した場合、強制的にデフォルトプロファイルに切り戻します。 判定時間：1~1440
------	---

##### バックアッププロファイル

- バックアッププロファイルの設定を行います。

設定

8

- 8 バックアッププロファイル設定画面下部の [設定] ボタンをクリックして、プロファイル切り替えの設定を反映させます。

## 6. [SIM2枚構成] 接続設定

### 6-4. プロファイル切り替え/切り戻し

#### ■ システム再起動

##### ● Web画面での再起動

1. Web設定ツールのメニューから、[本体設定] - [再起動] をクリックします。  
「再起動」ページが表示されます。
2. [再起動] ボタンをクリックします。

#### 本体設定

本体の各設定を行います。

#### 再起動

- 本体を再起動させます。

再起動ボタンを押すと、本体が再起動します。

再起動

##### ● SunDMSからの再起動

別紙「SunDMSの機能とご利用方法」をご覧ください。

##### ● 電源制御機能による再起動

[P. 42 ソフトウェアによる再起動](#) をご覧ください。

## 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

---

7-1. 構成

7-2. SIMカードスロット設定

7-3. プロファイル設定

7-4. プロファイル切り替え/切り戻し

# 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

## 7-1. 構成

本章では、IoT Connect Mobile Type S TSLプロファイルのSIM1枚を使用した構成における設定手順を説明します。

構成のイメージを以下に示します。

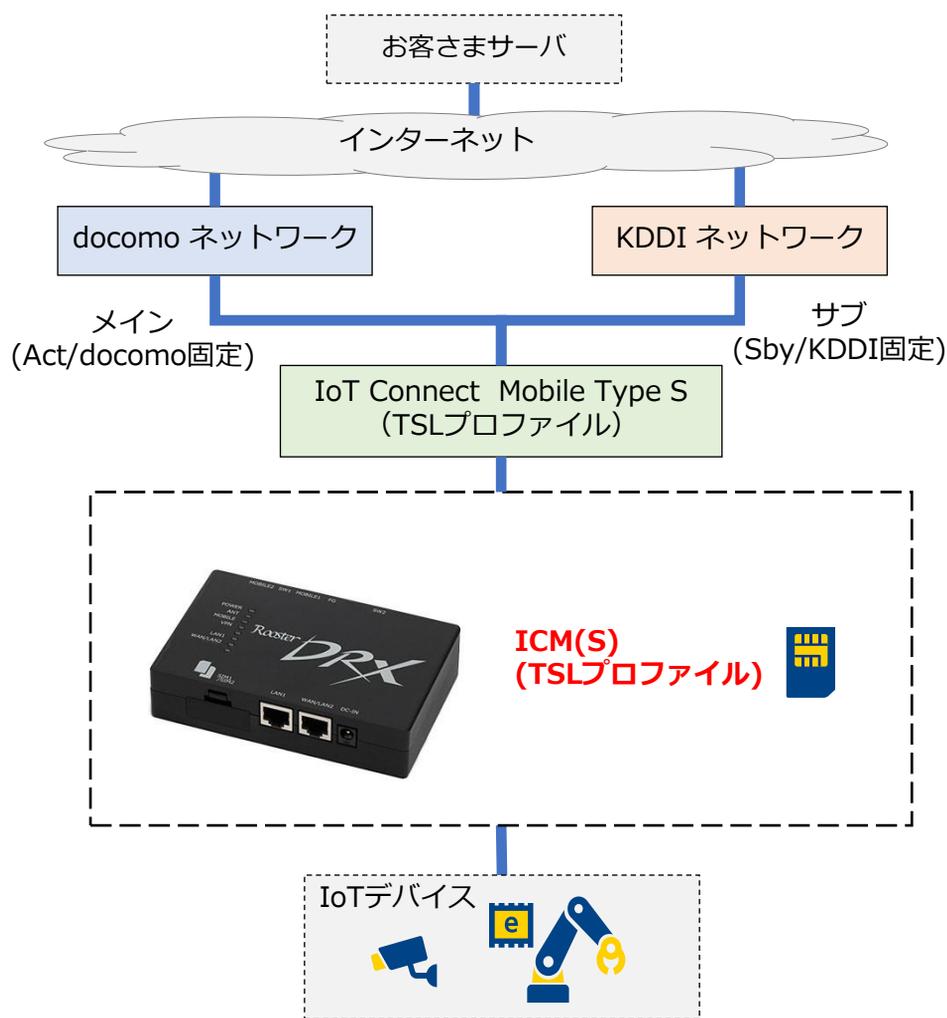


図 7-1. IoT Connect Mobile Type S TSLプロファイル SIM1枚構成

# 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

## 7-2. SIMカードスロット設定

- 1 Web設定ツールのメニューから、[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [SIM] をクリックします。「SIMカードスロット」のページが表示されます。

### モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

#### SIMカードスロット 1

- SIMカードスロットの設定を行います。

SIM1スロットを有効にする。

通信事業者を選択: ローミング 2

MVNO:

PINコードを設定:

SIM2スロットを有効にする。

通信事業者を選択: ローミング

MVNO:

PINコードを設定:

設定 3

- 2 SIM1の [通信事業者を選択] のプルダウンから「ローミング」を選択します。

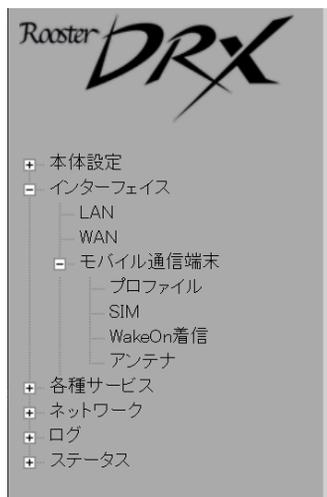
- 3 [設定] ボタンをクリックします。

# 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

## 7-3. プロファイル設定

SIM1のモバイル設定を行います。

- 1 Web設定ツールのメニューから、  
[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [プロファイル] をクリックします。  
「プロファイル」のページが表示されます。



### モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

#### プロファイル 1

- プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する:   2

No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作
-----	-----	-------	----------	----	----

デフォルトプロファイル:

[バックアッププロファイルの設定](#)

- 2 [プロファイルを追加する] にプロファイル番号「1」を入力し、[追加] ボタンをクリックします。「プロファイルの詳細設定」の画面が表示されます。

#### プロファイルの詳細設定

No.	<input type="text" value="1"/>
ID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
APN	<input type="text" value="mobile"/>
PDPタイプ	<input type="button" value="IP v"/>
認証プロトコル	<input type="button" value="自動 v"/> 3
SIM番号	<input type="button" value="1 v"/>
接続先通信事業者	<input type="button" value="ドコモ (440 10) v"/> SIMの通信事業者が「ローミング」の場合に適用
メモ	<input type="text" value="ICMS_TSL_docomo"/>

4

- 3 以下のとおり設定します。

【ID】：空欄

【パスワード】：空欄

【APN】：ナレッジセンタよりご確認をお願いします。  
[https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical\\_req/technical\\_requirements.html/#provision-conditions](https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical_req/technical_requirements.html/#provision-conditions)  
→端末設定/インターフェース条件(TSLプロファイル (インターネット接続)ご利用時)

【PDPタイプ】：IP

【認証プロトコル】：自動

【SIM番号】：1

【接続先事業者】：ドコモ (440 10)

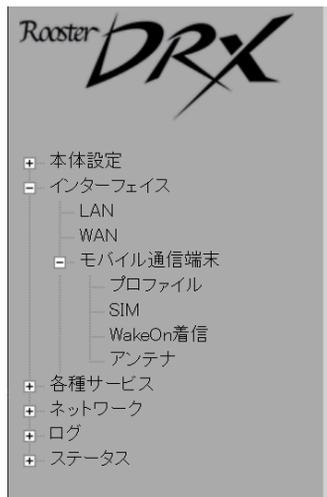
【メモ】：任意に設定内容を分かりやすくするための覚え書きを入力できます。

- 4 [設定] ボタンをクリックして、設定内容を反映させます。

# 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

## 7-3. プロファイル設定

- ⑤ [プロファイルを追加する] にプロファイル番号「2」を入力し、[追加] ボタンをクリックします。「プロファイルの詳細設定」の画面が表示されます。



### モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

#### プロファイル

- プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する:

2

追加 ⑤

No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作
1	mobile	1		ICMS_TSL_docomo	変更 削除

デフォルトプロファイル: 未設定 ▼

[バックアッププロファイルの設定](#)

設定

- ⑥ 以下のとおり設定します。

【ID】 : 空欄

【パスワード】 : 空欄

【APN】 : ナレッジセンタよりご確認をお願いします。  
[https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical\\_req/technical\\_requirement\\_s.html/#provision-conditions](https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical_req/technical_requirement_s.html/#provision-conditions)  
→端末設定/インターフェース条件(TSLプロファイル (インターネット接続)ご利用時)

【PDPタイプ】 : IP

【認証プロトコル】 : 自動

【SIM番号】 : 1

【接続先事業者】 : KDDI (440 51)

【メモ】 : 任意に設定内容を分かりやすくするための覚え書きを入力できます。

#### プロファイルの詳細設定

No.	2
ID	
パスワード	
APN	mobile
PDPタイプ	IP ▼
認証プロトコル	自動 ▼
SIM番号	1 ▼
接続先通信事業者	KDDI (440 51) ▼ <small>SIMの通信事業者が「ローミング」の場合に適用</small>
メモ	ICMS_TSL_KDDI

⑦

設定

キャンセル

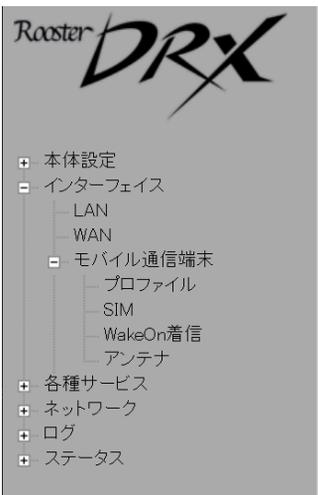
- ⑦ [設定] ボタンをクリックして、設定内容を反映させます。

# 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

## 7-4. プロファイル切り替え/切り戻し

プロファイルの切り替え設定をします。

- 1 Web設定ツールのメニューから、  
[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [プロファイル] をクリックします。  
「プロファイル」のページが表示されます。



### モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

#### プロファイル 1

- プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する:

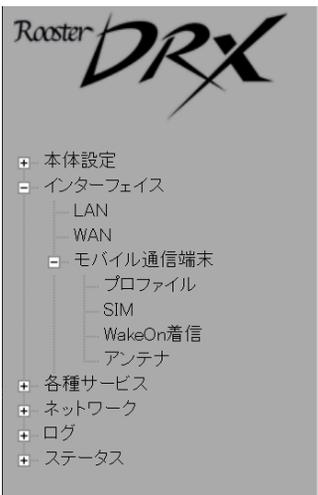
No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作
1	mobile	1		ICMS_TSL_docomo	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>
2	mobile	1		ICMS_TSL_KDDI	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>

デフォルトプロファイル:  2

[バックアッププロファイルの設定](#)

3

- 2 [デフォルトプロファイル] のプルダウンから [1] を選択します。
- 3 [設定]ボタンをクリックします。



### モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

#### プロファイル

- プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する:

No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作
1	mobile	1		ICMS_TSL_docomo	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>
2	mobile	1		ICMS_TSL_KDDI	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>

デフォルトプロファイル:

[バックアッププロファイルの設定](#) 4

- 4 [バックアッププロファイルの設定]をクリックします。

## 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

### 7-4. プロファイル切り替え/切り戻し

#### バックアッププロファイル

- バックアッププロファイルの設定を行います。

- バックアッププロファイルを使用する。

バックアッププロファイル:  **5**

#### 切り替え条件

- SunDMS WANハートビートが指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。

監視先ホスト:

監視間隔:  分

指定回数:  回

- 監視先ホストへの通信が指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。

監視先ホスト:

監視間隔:  秒

指定回数:  回

- アンテナレベルが基準以下の場合、プロファイルを切り替える。

基準:

判定時間:  分

- 指定の時間でデフォルトプロファイルに切り戻す

判定時間:  分

**5** [バックアッププロファイル] のプルダウンから [2] を選択します。

**6** [切り替え条件] の項目で、

- ・ [SunDMS WANハートビートが指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。]
  - ・ [監視先ホストへの通信が指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。]
  - ・ [アンテナレベルが基準以下の場合、プロファイルを切り替える。]
- の3つの条件のうち1つを選択して設定します。

## 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

### 7-4. プロファイル切り替え/切り戻し

#### ■ 監視先ホストにSunDMSを利用する場合

[SunDMS WANハートビートが指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。] を選択し、以下を設定します。

監視先ホスト	デフォルトプロファイル設定のモバイル通信の健全性をpingで監視するための「SunDMS WAN ハートビート」のドメイン名を指定します。
監視間隔	監視先ホストに対して監視を行う間隔 (分) を指定します。 設定範囲：2～1440
指定回数	リトライする回数を指定します。 「監視先ホスト」に対して「監視間隔」でpingを実施し、「指定回数」連続で失敗した場合、プロファイルを切り替えます。 設定範囲：1～10

※ SunDMS WANハートビート機能は、SunDMSの有償プランでご利用いただけます。  
SunDMSにつきましては、別紙「SunDMSの機能とご利用方法」をご覧ください。

#### ■ 監視先ホストに自前のマシンを利用する場合

[監視先ホストへの通信が指定回数連続で失敗したら、プロファイルを切り替える。] を選択し、以下を設定します。

監視先ホスト	デフォルトプロファイル設定のモバイル通信の健全性をpingで監視するためのIPアドレス、もしくはドメイン名を指定します。 監視先ホストが応答しない場合、プロファイルを切り替えます。
監視間隔	監視先ホストに対して監視を行う間隔 (秒) を指定します。 設定範囲：1～600
指定回数	リトライする回数を指定します。 「監視先ホスト」に対して「監視間隔」でpingを実施し、「指定回数」連続で失敗した場合、プロファイルを切り替えます。 設定範囲：1～10

#### ■ アンテナレベルを使用する場合

[アンテナレベルが基準以下の場合、プロファイルを切り替える。] を選択し、以下を設定します。

基準	モバイル通信のアンテナレベル (通信状況) を監視するための基準を指定します。 基準アンテナレベル：0～3
判定時間	アンテナレベルが設定基準以下の状態が連続して判定時間 (分) 経過した場合、プロファイルを切り替えます。 判定時間：1～1440

# 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

## 7-4. プロファイル切り替え/切り戻し

プロファイル切り戻しの条件につきまして、以下の方法があります。

方法	処理	実行手順
切り戻しタイマー	自動	指定の時間経過によりデフォルトプロファイルに切り戻す
システム再起動	手動	Web設定画面 (シンプルモード) もしくはCLI (アドバンスドモード) に接続し再起動操作
		SunDMSから再起動操作
		DRX5002本体の物理的な電源入れ直し
	自動	電源制御機能による再起動

### ■ 切り戻しタイマー

#### バックアッププロファイル

- バックアッププロファイルの設定を行います。

バックアッププロファイルを使用する。

バックアッププロファイル: 2

指定の時間でデフォルトプロファイルに切り戻す

判定時間: 1~1440 分

7

- 7 時間経過によりデフォルトプロファイルに自動で切り戻す場合は、[指定の時間でデフォルトプロファイルに切り戻す] にチェックを入れ、「判定時間」を設定します。

判定時間	バックアッププロファイルに切り替わってから判定時間 (分) 経過した場合、強制的にデフォルトプロファイルに切り戻します。 判定時間: 1~1440
------	--

#### バックアッププロファイル

- バックアッププロファイルの設定を行います。

設定

8

- 8 バックアッププロファイル設定画面下部の [設定] ボタンをクリックして、プロファイル切り替えの設定を反映させます。

## 7. [SIM1枚構成 (TSLプロファイル) ] 接続設定

### 7-4. プロファイル切り替え/切り戻し

#### ■ システム再起動

##### ● Web画面での再起動

1. Web設定ツールのメニューから、[本体設定] - [再起動] をクリックします。  
「再起動」ページが表示されます。
2. [再起動] ボタンをクリックします。

#### 本体設定

本体の各設定を行います。

#### 再起動

- 本体を再起動させます。

再起動ボタンを押すと、本体が再起動します。

再起動

##### ● SunDMSからの再起動

別紙「SunDMSの機能とご利用方法」をご覧ください。

##### ● 電源制御機能による再起動

[P. 42 ソフトウェアによる再起動](#) をご覧ください。

## 8. [SIM1枚構成 (NTTCプロファイル) ] 接続設定

---

8-1. 構成

8-2. SIMカードスロット設定

8-3. プロファイル設定

## 8. [SIM1枚構成 (NTTCプロファイル) ] 接続設定

### 8-1. 構成

本章では、IoT Connect Mobile Type S NTTCPロファイルのSIM1枚を使用した構成における設定手順を説明します。

構成のイメージを以下に示します。

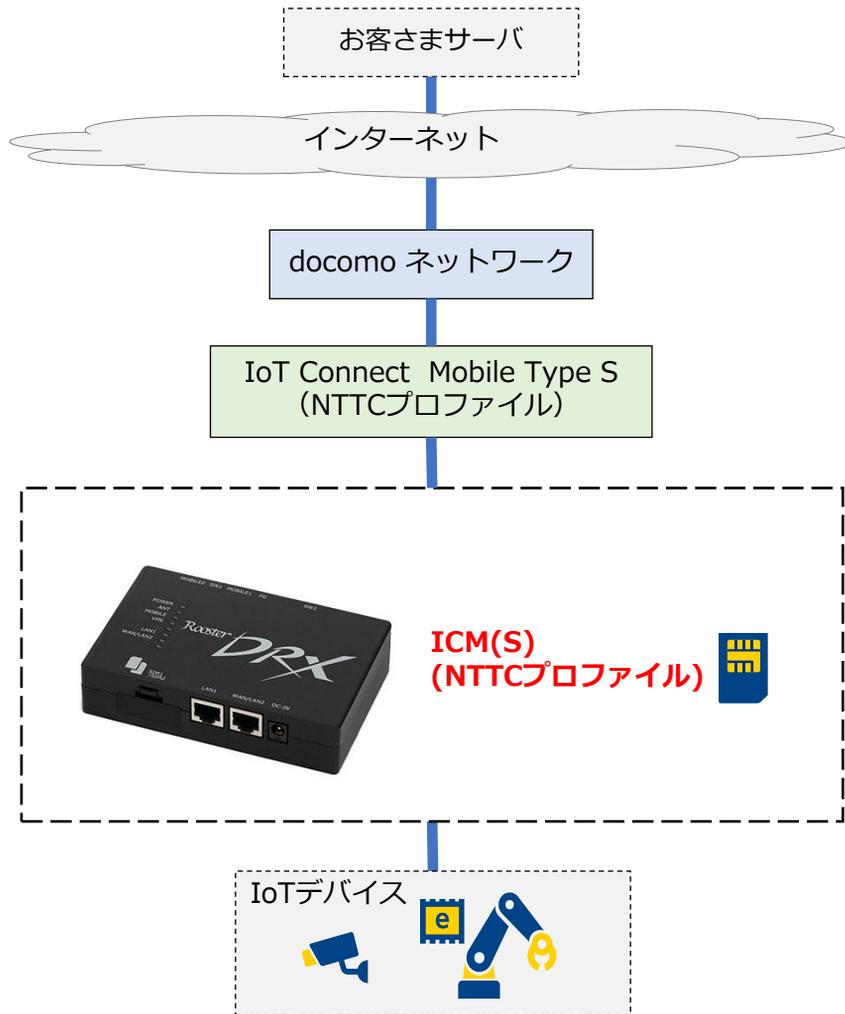


図 8-1. IoT Connect Mobile Type S NTTCPロファイル SIM1枚構成

## 8. [SIM1枚構成 (NTTCプロファイル) ] 接続設定

### 8-2. SIMカードスロット設定

- 1 Web設定ツールのメニューから、[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [SIM] をクリックします。「SIMカードスロット」のページが表示されます。

## モバイル通信端末

モバイル通信端末の各設定を行います。

### SIMカードスロット 1

- SIMカードスロットの設定を行います。

SIM1スロットを有効にする。

通信事業者を選択: ローミング 2

MVNO:

PINコードを設定:

SIM2スロットを有効にする。

通信事業者を選択: ローミング

MVNO:

PINコードを設定:

設定 3

- 2 SIM1の [通信事業者を選択] のプルダウンから「ローミング」を選択します。

- 3 [設定] ボタンをクリックします。

## 8. [SIM1枚構成 (NTTCプロファイル) ] 接続設定

### 8-3. プロファイル設定

SIM1のモバイル設定を行います。

- 1 Web設定ツールのメニューから、  
[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [プロファイル] をクリックします。  
「プロファイル」のページが表示されます。

**モバイル通信端末**  
モバイル通信端末の各設定を行います。

**プロファイル 1**

■ プロファイルの設定を行います。

プロファイルを追加する:   2

No.	APN	SIM番号	対象ネットワーク	メモ	操作

デフォルトプロファイル:   
[バックアッププロファイルの設定](#)

- 2 [プロファイルを追加する] にプロファイル番号「1」を入力し、[追加] ボタンをクリックします。「プロファイルの詳細設定」の画面が表示されます。

#### プロファイルの詳細設定

No.	<input type="text" value="1"/>
ID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
APN	<input type="text"/>
PDPタイプ	<input type="button" value="IP▼"/>
認証プロトコル	<input type="button" value="自動▼"/>
SIM番号	<input type="button" value="1▼"/>
接続先通信事業者	<input type="button" value="自動▼"/> <small>SIMの通信事業者が「ローミング」の場合に適用</small>
メモ	<input type="text"/>

- 3 以下のとおり設定します。

【ID】 : 空欄  
【パスワード】 : 空欄

【APN】 : ナレッジセンタよりご確認をお願いします。  
[https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical\\_req/technical\\_requirement\\_s.html#provision-conditions](https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical_req/technical_requirement_s.html#provision-conditions)  
→端末設定/インターフェイス条件(NTTCプロファイル (インターネット接続) ご利用時)

【PDPタイプ】 : IP  
【認証プロトコル】 : 自動  
【SIM番号】 : 1  
【接続先事業者】 : 自動

【メモ】 : 任意に設定内容を分かりやすくするための覚え書きを入力できます。

4

- 4 [設定] ボタンをクリックして、設定内容を反映させます。

## 9. その他機能設定

---

- 9-1. モバイル通信端末のステータス
- 9-2. 自動再起動機能
- 9-3. ファームウェアのアップデート
- 9-4. 初期化
- 9-5. ランプ点灯・点滅パターン

## 9. その他機能設定

### 9-1. モバイル通信端末のステータス

Web設定ツールのメニューから、[ステータス] - [モバイル通信端末] をクリックします。「モバイル通信端末ステータス」のページが表示され、現在接続している回線の状況を確認できます。

#### ステータス

現在の設定・状態を表示します。

##### モバイル通信端末

- モバイル通信端末の通信状態を表示します。

プロフィール名	接続先 情報	接続先 メモ	ステータス	操作
1	xxx.ne.jp xxx@xx.ne.jp	xxxx	接続完了 <a href="#">詳細表示</a>	<a href="#">切断</a> <a href="#">無効</a>

# 9. その他機能設定

## 9-2. 自動再起動機能

DRX5002の電源の制御を行います。本機能は定期的にDRX5002の電源をON/OFFすることにより安定した運用を行うことを目的とします。

### ●ハードウェアによる再起動

ハードウェアの電源をON/OFFする設定です。

回線がつながっている状態でも、設定時間になるとハードウェアが再起動します。ソフトウェアの設定が何らかの影響にて動作しなかった時の保険的な機能です。ハードウェアの設定時間は目安のため、実際の動作時間は多少前後します。

### ●ソフトウェアによる再起動

ソフトウェア上でDRX5002の電源をON/OFFする設定です。

【設定画面】 Web設定ツールのメニューから「本体設定」 - 「電源制御」をクリックします。

## 本体設定

本体の各設定を行います。

### 電源制御

■ 自動電源ON/OFFの設定を行います。

ハードウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。  
間隔: 1日

再起動時刻を指定  
00 時 00 分 (00時00分~23時59分)

ソフトウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。  
再起動時刻: 00 時 00 分 (00時00分~23時59分)

再起動時間を分散する  
分散時間: 分 (1~120)

間隔指定  
間隔: 1日

曜日指定  
 :月  :火  :水  :木  
 :金  :土  :日

設定

<設定項目・パラメータ>

【ハードウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。】

- ・ 間隔: 1~7日  
再起動を実行する間隔を設定します。

- ・ 再起動時刻: 00時00分~23時59分  
再起動を実行する時刻を設定します。

【ソフトウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。】

- ・ 再起動時刻: 00時00分~23時59分  
再起動を実行する時刻を設定します。
- ・ 分散時間: 0~120分  
個体ごとに再起動する時間を分散させます。  
複数台設置時に同時に再起動時間した場合のネットワーク上の輻輳を防ぐため、製造番号を元にした乱数を使い、指定された再起動時間から再起動を遅らせます。
- ・ 間隔指定: 1~7日  
再起動を実行する間隔を設定します。  
※間隔指定、曜日指定のいずれかを選択します。
- ・ 曜日指定: 月~日  
再起動を実行する曜日を設定します。  
※間隔指定、曜日指定のいずれかを選択します。

## 9. その他機能設定

### 9-3. ファームウェアのアップデート

#### ■ Web画面での操作方法

1. Web設定ツールのメニューから、「本体設定」－「ファームウェアアップデート」をクリックし、現在のバージョンを確認します。

##### 本体設定

本体の各設定を行います。

##### ファームウェアアップデート

- ファームウェアのアップデートを行います。

現在のファームウェアバージョン:

DRX5002 RoosterOS DRX 2.x.x Bx

アップデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。

ファイル名:  選択されていません

2. 新しいファームウェアを以下サイトにて確認し、ダウンロードします。

<https://www.sun-denshi.co.jp/sc/down.html>



DRX5002の最新のファームウェアバージョンをクリックし、ダウンロードします。

3. 上記1. の設定画面より、ダウンロードしたアップデートプログラムデータ「\*.rsys」を指定しアップデートします。

##### 本体設定

本体の各設定を行います。

##### ファームウェアアップデート

- ファームウェアのアップデートを行います。

現在のファームウェアバージョン:

DRX5002 RoosterOS DRX 2.x.x Bx

アップデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。

ファイル名:  選択されていません

[ファイルを選択]をクリックし、アップデートプログラムデータ「\*.rsys」を指定して、[アップデート開始]をクリックします。

- ※ アップデート中は絶対にDRX5002の電源を切らないようにしてください。動作不能となる恐れがあります。これにより動作不能となった場合、有償修理となりますのでご注意ください。

#### ■ SunDMSでの操作方法

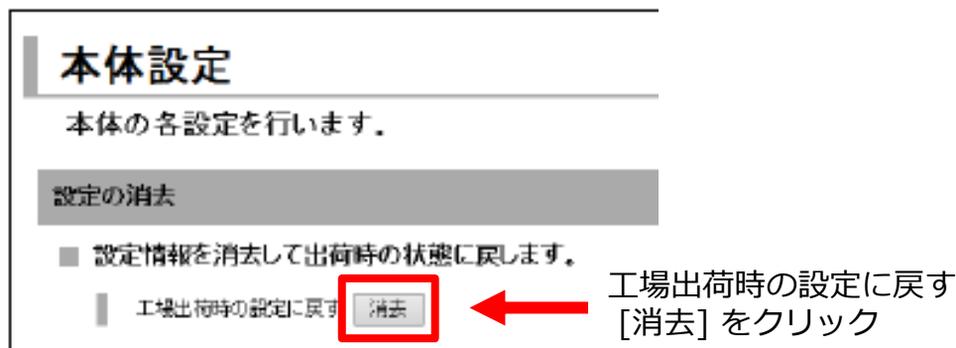
別紙「SunDMSの機能とご利用方法」をご覧ください。

## 9. その他機能設定

### 9-4. 初期化

#### ■ Web画面での初期化方法

Web設定ツールのメニューから、[本体設定] - 「設定の消去」をクリックします。



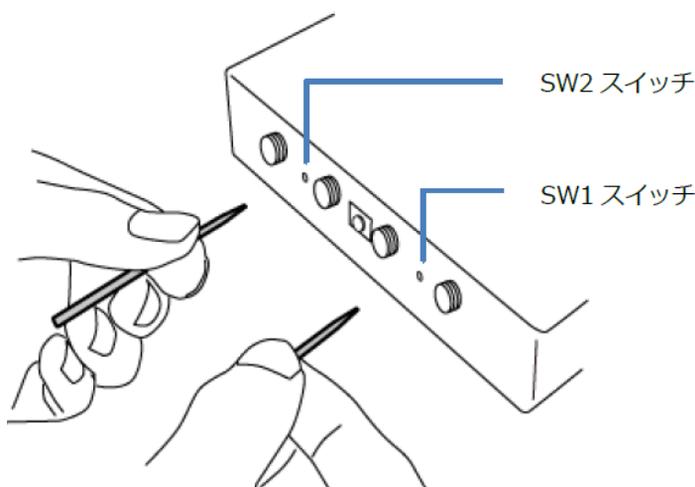
確認ダイアログで [OK] をクリックすると、DRX5002が再起動し、設定が工場出荷時の状態にリセットされます。

#### ■ 本体スイッチでの初期化方法

DRX5002本体にあるSW1及びSW2を同時に3秒以上長押しします。

3秒以上長押しするとLEDが一旦全点灯（ANT赤以外）した後、WLANランプ、VPNランプ、MOBILEランプ、ANT緑ランプの順で消灯し、工場出荷時の設定に戻り、再起動します。

※ アドバンスモード（CLI）に移行後はこちらの方法で初期化できます。



## 9. その他機能設定

### 9-5. ランプ点灯・点滅パターン

名称	ランプ状態	端末状態
POWER	点灯	電源が入っていて使用可能な状態です
	点滅	起動中、またはおやすみモードへの移行中です
	遅い点滅	おやすみモード中です
	消灯	電源が入っていません
VPN	点灯	VPN 接続が確立された状態です
	消灯	VPN 接続が行われておりません
MOBILE	点灯	接続が確立された状態です
	点滅	接続を試行している状態です
	消灯	接続が行われていません
ANT	点灯	モバイル通信圏内（電波4： -101dBm以上）
	点滅	モバイル通信圏内（電波3： -113~-103dBm）
	点滅	モバイル通信圏内（電波2： -121~-115dBm）
	点灯	モバイル通信圏内（電波1： -131~-123dBm）
	消灯	モバイル通信圏外（電波0： -131dBm未満） モバイル通信未使用
LAN・WAN	早い点滅	データが流れています
	点灯	リンクしています
	消灯	リンクしていません

## 10. 困ったときには

---

## 10. 困ったときには

症状	確認項目
ネットワークに接続できない	圏外で使用していませんか？ ●電波状態を確認し、サービスエリア内で接続を行ってください。
	接続設定に誤りはありませんか？ ●接続設定のユーザID、パスワードおよびネットワーク接続サービスの接続先（APN）を確認してください。
ネットワーク接続がすぐに切断される	DRX5002が正しく設定されていますか？ ●DRX5002と接続デバイスが正しく接続されていることを確認してください。
	電波状態は安定していますか？ ●電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
ネットワーク速度が安定しない	電波状態は安定していますか？ ●電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
本体の設定画面にログインできない	●設定を行うPCとDRX5002が接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、LANケーブルで接続してください。 ●設定画面にログインするためのユーザー名やパスワードが正しいか確認してください。 ●Webブラウザがプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。 ●設定を行うDRX5002のIPアドレスが正しく設定されているかを確認してください。

## 11. お問い合わせ窓口

---

# 11. お問い合わせ窓口

## ■ SIMに関するお問い合わせ

ポータル画面からチケットにてお受けしております。

受付時間	24時間365日
対応時間	平日 10:00~17:30 (JST / 土日祝日、年末年始を除く)

※チケットの起票方法は以下を参照ください。

<https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/tutorials/ticket/ticket.html/>

## ■ 端末の設定・操作方法に関するお問い合わせ

電話にてお受けしております。

あらかじめ下記の情報をご準備の上、お問い合わせをお願いします。

- ・お客さまの端末のIMEI番号  
IMEI番号は装置に貼付したシールに記載されています。
- ・モバイル通信ステータス  
[P.51 モバイル通信端末のステータス](#) の手順でご確認をお願いします。

※端末の初期設定、端末操作方法について、サポート範囲は本書に記載の内容に限ります。

受付電話番号	 0120-561-749
受付時間	端末操作 平日 9:00~18:00 (JST / 土日祝日、年末年始を除く)
	端末故障 平日 9:00~20:00 (JST / 土日祝日、年末年始を除く)

## ■ 同梱物の欠品に関するお問い合わせ

営業担当へご連絡をお願いします。

接続ガイド DRX5002

2025年7月 第1.3版発行  
発行 NTTドコモビジネス株式会社  
©NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved.  
本書の無断複写複製（コピー）・転載を禁じます。